

科目名：計算実務Ⅱ	講義	担当教員名： 串田アユ子	実務経験 有
1年次 5期	30時間	必修	
<b>授業の到達目標及びテーマ</b> 1. 計算実務Ⅰで学んだことを基礎に複雑な事例や範囲を広げて経済的で有利な計算に慣れる。 将来、金融機関や証券会社、経理職に就いた場合に知識として身に着けたい内容を取り上げる。			
<b>授業の概要</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・補助簿のしくみ、求める金額がイメージできるようにする。</li> <li>・利息、手取り額、単位の換算、手形の割引。</li> <li>・利付債券の最終利回りの計算</li> <li>・上級の電卓検定の紹介をする。</li> </ul>			
<b>授業計画</b>			
1	電卓検定の上級編の紹介		
2	半年Ⅰ期複利(3か月)による元利合計		
3	帳票計算 固定資産台帳と棚卸表		
4	単利と複利に加えて端数単利法		
5	仕入原価と売上原価、値引きと割引		
6	賦金表を使用して年初払いと年末払いによる借入金の残債の計算		
7	単位の換算(通貨、度量衡)		
8	年金の終価と現価		
9	固定資産償却率表(定率法・定額法)を使用して売却損益の計算		
10	手形の割引率と割引日数、手取り金額		
11	財務分析の必要性和指標の種類、使い方		
12	受取勘定回転率、商品回転率、流動比率、当座比率等の財務分析指標		
13	利付債券の最終利回りと買い入れ価格		
14	総合問題		
15	まとめ		
<b>テキスト</b> オリジナルテキスト			
<b>使用教具・参考書等</b> ① 計算器具として電卓 ②検定試験対策として全国経理教育教会主催『計算実務1級』問題集			
<b>評価の方法と基準</b> 定期試験(ペーパーテスト 100点中60点以上を可) 出席率・授業態度・提出物・検定試験の結果等加味する。			